第２次武雄市食育推進計画

平成 23 年度　楽しい食卓の絵コンクール　最優秀賞

武　　雄　　市

平成２４年３月

目　　次

第２次武雄市食育推進計画の策定にあたって　…１

第１章　食育推進の目標　…３

　１　計画の目標

　２　基本方針

第２章　食育推進の施策展開　…５

　１　食育体験プログラム

　２　ライフステージにおける食育の推進

第３章　計画の着実な推進に向けて　…12

　１　計画の推進体制

　２　家庭、地域及び行政の役割

　３　計画の評価と見直し

食育推進の数値目標一覧　…14

参考資料　…16

「食育」とは？

○　生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの

○　様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること

第２次武雄市食育推進計画の策定にあたって

【計画策定の趣旨】

武雄市には、地球のアンテナのようにそびえ立つ樹齢三千年の楠の巨木があります。三千年前の縄文時代の人々は、川で釣った魚と、近くの山で拾ったどんぐりを粉にした団子、山菜を一緒に土器に入れて煮るだご汁（だんご汁）を主食として自然と共存した食生活を送っていました。私たちが生きていくためには、「食」は欠かせないものです。また、「食」は健全な心身を養い、豊かな人間性を育む基礎となるものでもあります。

少子高齢化、国際化、情報化の社会情勢の変化が進む中、平成２０年度から４年間、実施した食育推進計画に基づく事業は、当初は食育という言葉自体わからなかった市民の方にも理解が深まってきたところです。

また、あらゆるライフステージで、食育推進事業を一緒になって進めていただく市民団体とのネットワークができ、子ども達の農業（調理）体験事業を始め、講座や講演会、啓発活動等の事業が実施できるようになりました。

しかしながら、個人の好みに合わせた食生活スタイルへと食の多様化がさらに進み、糖尿病等の生活習慣病り患者は増加しており大変な危機を迎えています。

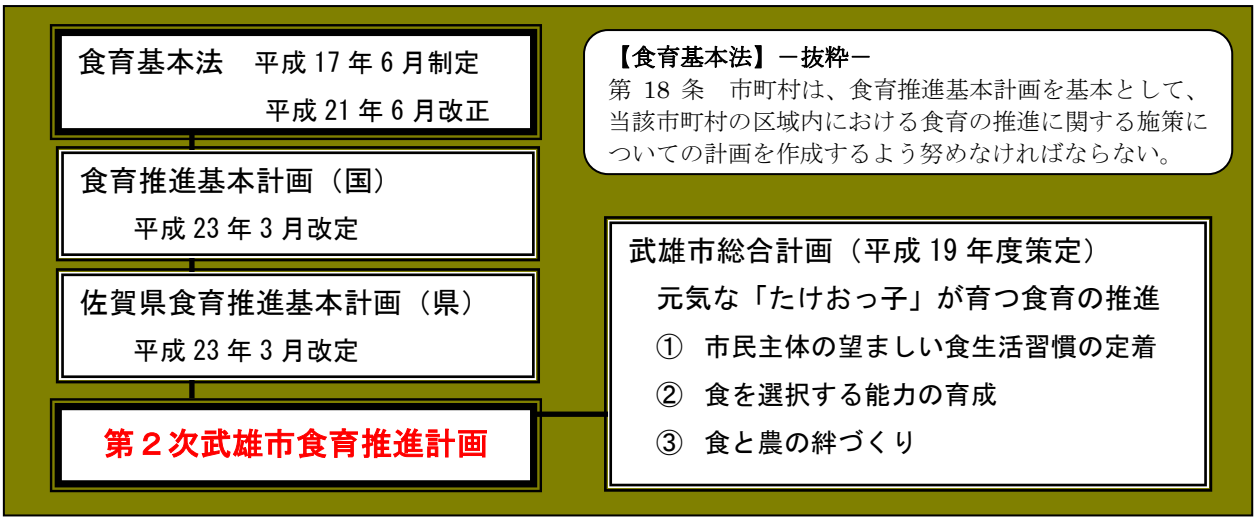
また、子どもの朝食欠食、こ食がみられること、さらには高齢者の栄養の片寄りなど「食」をめぐる課題への対応の必要性は益々増加しており、更に生涯食育の推進が求められています。

武雄市民が健康になるために全国に先駆けて設置した食育課を核として、福祉・教育関係者、保健医療関係者、農業関係者、旅館、飲食店、食に関わる各種団体と連携・協働し、食育を推進する「第２次武雄市食育推進計画」を策定するものです。

【計画の位置づけ】

第２次武雄市食育推進計画は、食育基本法第 18 条に規定されている「食育の推進に関する計画の作成」に基づいた計画です。

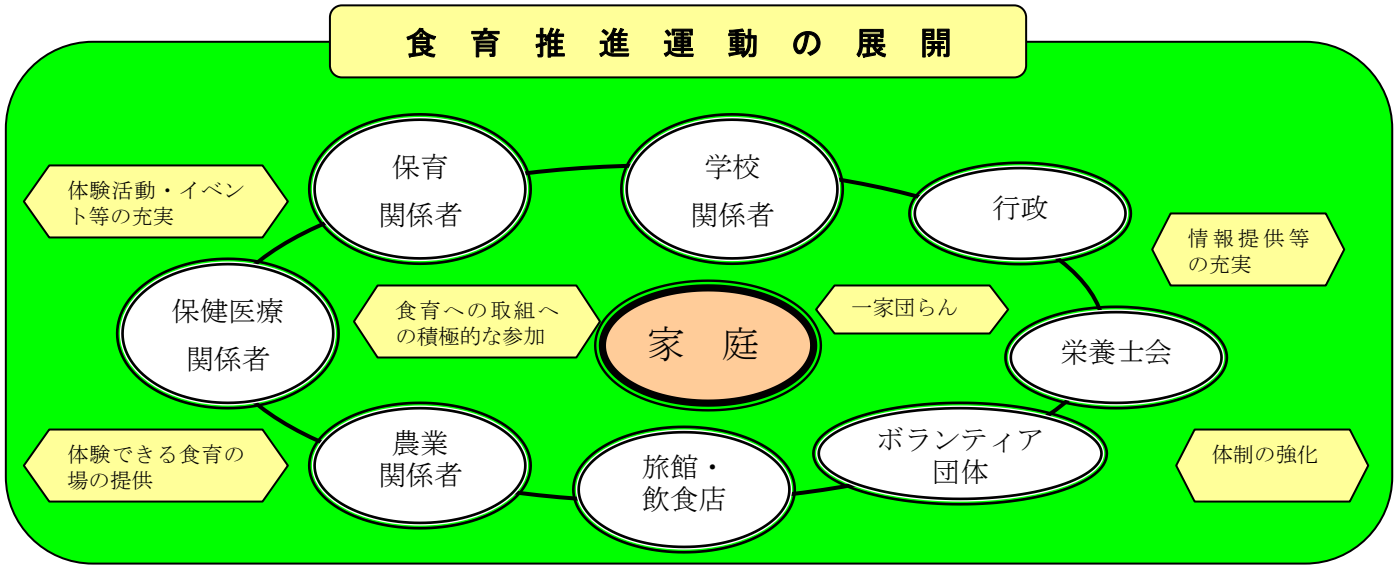
本計画は、武雄市における食育の方向性を示すだけでなく、これまでも取組まれてきた教育、健康づくりや農業等に関わる施策と連携することで、より効果的な取組へと発展させるものです。また、保育所・幼稚園や小中学校で策定する「食育推進計画」における食育の取組に活用するとともに、地域の力を活かし一人ひとりが健全な食生活の実践者になることを目指した食育推進運動の計画とします。



【計画の期間】

本計画の期間は、市民が取組やすい行動計画とし平成 24 年度から平成 27 年度の 4 年間です。

なお、社会情勢の変化に対応しながら弾力的に運用し、この期間に関わらず必要に応じて見直すこととします。

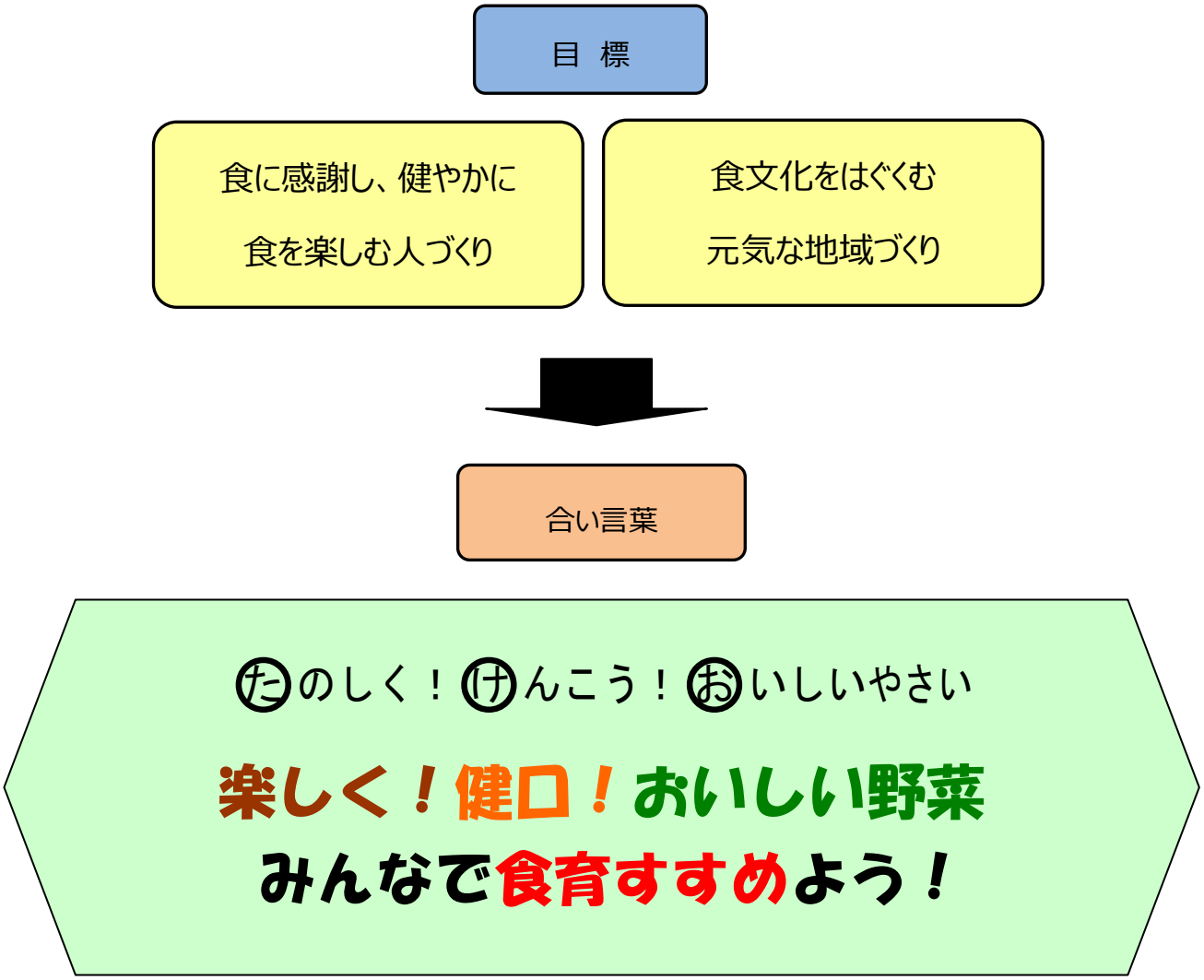


第１章　食育推進の目標

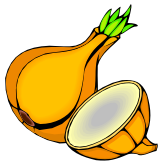
１　計画の目標

食育の推進にあたっては、様々な人、風土、歴史及び環境のうえにはぐくまれている食について、一人ひとりが様々な体験により「楽しさ」を感じるとともに、食に対する親しみや感謝の念をもつことが大切です。

武雄市は、目標を以下のとおり掲げ「楽しく！健口（けんこう）※！おいしい野菜　みんなで食育すすめよう！」を合い言葉に、安全安心な地元産の食材を中心とした食育の取組を進め、子どもたちが心身ともに健やかに育ち、地域の人の輪の広がりによって次世代へ受け継がれていく食を育み、活力にみちたぬくもりある地域づくりを目指します。



※健口（けんこう）：よく「噛む」ことが体に好影響を与え、健康につながること



2　基本方針

武雄市における食育は、家庭、地域、関係機関と行政との協働による市民運動として取組み、次の方針に基づき推進します。

「体」

○市民一人ひとりが「野菜を育てる楽しさ」や「料理づくりの楽しさ」等を体験し、安全安心で身体によい食材を選ぶ力、最低限の食事（ごはんとみそ汁等）を作る力など食育で身につけたい力の習得に努めます。

「知」

○食に関する正しい知識を習得し、健康的なバランスのとれた食事を選ぶ力、しっかり噛んで食べる習慣を身につけ、心身の健康増進や生活習慣の改善につながる食育を推進します。

「伝」

○武雄で育った旬の農産物を題材として自然の恩恵や生産者等への感謝の気持ちを育み、伝承料理や和食、新たに産み出された武雄の味などを伝えていきます。

「楽」

○家庭では、共食を通じてあいさつや食事マナーなど基礎的な習慣を身につけ、楽しい食卓づくりを推進します。

食育で身につけたい力

1 健康的な食事を選択する

2 いのちに感謝する

3 食べ物の育ちを感じる

4 料理ができる

5 食文化を継承する

第２章　食育推進の施策展開

基本方針を推進するためには、食育に携わる多くの関係者が各々の役割を果たし、食育を展開していくことが求められています。

武雄市では、地域の人の輪を広げ家庭を支援していく食育体験プログラム及びライフステージの取組を展開します。

１　食育体験プログラム

子どもたちが心身ともに健やかに育ち豊かな人間性を育むためには、様々な体験を積み重ねていくことが必要です。

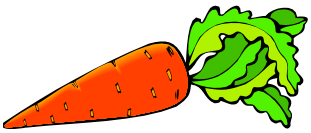
そのため、普段はなにげなく使っている５つの感覚「みる・きく・さわる・かぐ・あじわう」を使って武雄ならではの食を楽しむ体験型の食育推進プログラムを作成し取組ます。

（１）「野菜パワーで元気１００％」
つくって食べようおいしい野菜

野菜を育てる楽しさや野菜を食卓に増やすため、武雄在住の専門家を講師に招いて、簡単に家庭でできる有機栽培等による野菜作り教室や素材を活かした料理教室を開催します。

（２）つくってみよう！あの人に食べてもらいたいお弁当

栄養バランスのとれた食事について学び、家族に食べてもらいたいお弁当（食事）作りやお手伝い等を通じて、家族の絆を深める事業を行います。



（３）つくってみよう！たけおんと
（武雄のもの）

家族で「楽しい食卓」を囲む食育を進めるため、地域の行事料理や伝承料理、旬の地元野菜を使った料理、新たに産み出された武雄ならではの味を伝えます。

（４）みんなでつくる楽しいごはん
「野菜料理をもう一皿」

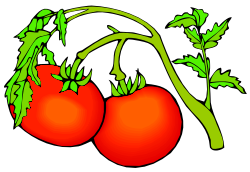
家庭を中心とした食育を進めるため、身近にある季節の食材を利用した野菜料理の啓発や学ぶ機会の提供、家族が協力して料理を作るための講座等を開催します。

（５）彩・食・健・美
（食卓を彩る武雄焼）

武雄の産業である焼き物と食の楽しさを体験する事業や自分の食べる量を器で調整し適量を確認できるような事業を行います。

（６）come come（かむ、カム）ごっくん
噛めば来る来る　健康な体

食べ物をよく噛むことが肥満予防、消化・吸収を助ける、薄味で素材の味がわかる、虫歯を防ぐ等全身に与える良い影響について知識の習得に努め、健康な体づくり事業を行います。



２　ライフステージにおける食育の推進

食生活は長い年月をかけて形成されるものですが、それぞれのライフステージによって、食のあり方は異なります。その時期に応じた食に関する知識や技術、健全な食生活の習慣化を目指し、一人ひとりの生活形態に沿った食育を実践していくことが必要です。

そのため、ライフステージを「妊娠期」、「乳幼児期」、「学童・思春期」、「青年・壮年期」、「高齢期」の５つの段階で捉え、取組を展開します。

（１）妊娠期

女性の妊娠期は、母子とも極めて重要な時期であることから、栄養バランスを考えた食生活を実践していく必要があります。妊娠を期に自身の食生活を振り返ってみることが必要です。

また、生まれてくる子どものために親が望ましい食習慣を築き上げる最も大切な時期です。母乳の成分や味が母親の食事内容に大きく影響される事等から栄養相談や食生活指導を通じ、基礎的な知識を習得することが求められています。

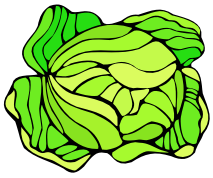
○施策の内容

◇母子手帳交付時や両親学級などにおいて、食に関する知識の普及、食生活相談などに努めます。

○主な事業

◆母子手帳交付
◆母親学級
◆両親学級

（両親学級）



（２）乳幼児期

食の基礎を作る大切な時期であり、心身の発育・発達も著しい時期です。うす味を心がけ、いろいろな食材を利用して味覚を育て、好き嫌いをしない、量をバランス良く摂る事など学ぶ事が大切です。

また、保育所・幼稚園においては家庭ではなかなか経験できない種まきや収穫体験・加工調理などを実践し、野菜の育ちを知り食べ物を大切にする心を育てる取組が求められています。

○施策の内容

◇乳幼児健康診査において､個別栄養･食生活相談など食事に関する情報を提供します。

◇離乳食教室など食に関する知識の普及や相談、噛むことの大切さの啓発に努めます。

◇子ども料理教室を行い、食への関心を深める取組を進めます。

◇保育所・幼稚園では野菜作りや料理作りなどを実践し、体験を通して自然への感謝の気持ちを培い、食を楽しむ取組を進めます。

○主な事業

◆４か月児健診
◆１歳６か月児健診
◆２歳６か月児歯科検診
◆３歳６か月児健診
◆乳幼児訪問
◆乳幼児相談
◆はじめよう食育講座
◆子育て応援クッキング教室
◆きっず・キッチン教室

（子育て応援クッキング教室）

（きっず☆キッチン）

（３）学童・思春期

心身の発育・発達とともに体力・運動能力が急速に高まり、個性が確立する大切な時期です。

食べ物と体の関係について理解し、自らが食事を選択し、最低限の食事をつくることができる子どもを育てることが必要です。また、食生活の大切さを学び、望ましい食習慣を身につけるために、家庭と学校や地域が連携することが求められています。

〇施策の内容

◇食育の生きた教材である学校給食には、地域で収穫された食材を利用するよう努めます。

◇ＰＴＡの行事や学校教育活動全般を通じて、親子が一緒に食に関する知識を身につける機会を充実します。

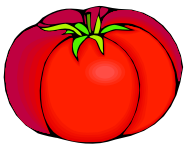
◇親子食育教室で基本的な調理方法を身につけ、食事づくりの楽しさを知る教室などを実施し、食育に対する理解を深めます。

〇主な事業

◆「早寝・早起き・朝ごはん」運動の実施
◆「お弁当の日」の実施
◆学校給食「武雄の食の日」支援
◆訪問型家庭教育支援事業
◆はじめよう食育講座
◆ふれあい食育教室
◆お魚きっず
◆農業体験学習事業の実施
◆ふるさと食農教室先生派遣事業
◆出前講座（ごみ減量、食育講話）

（ふれあい食育教室）

（お魚きっず）



（４）青年・壮年期

身体の発達はほぼ完了し、精神的にも社会的な役割などを自覚し、生活習慣や食習慣が定着してきます。

飽食の時代を迎え、日頃から自分の健康状態をチェックし、望ましい生活習慣や食習慣の改善を図りながら、運動をとりいれて健康維持に努めることが必要です。

家庭においては、子どもたちに食事マナーや食材に関する知識を教え、地域においては、旬の地元野菜を使った料理や伝承料理を伝えることが求められています。

〇施策の内容

◇健康教室を開催し、生活習慣病等よく噛んで食べる食事や運動で予防を実践できる場を提供します。

◇料理教室の開催や市民農園等で農業体験できる機会を提供し､食や農への理解を深め、家庭での実践につながるように情報提供に努めます。

◇食生活改善推進員による食育推進活動のための料理教室の開催を支援します。

◇安全・安心な食について理解し、安全な食を選択する知識を身につけさせ、災害発生時の食に関する情報提供に努めます。

〇主な事業

◆健康づくり教室
◆メタボリックシンドローム予防教室
◆健康相談
◆訪問指導
◆ふるさと食農教室先生派遣事業
◆食と農のふれあい交流活動支援事業
◆食と農の絆づくり事業に関する事務
◆うまかもんづくり支援事業
◆出前講座
◆食生活改善推進協議会活動事業
◆肥満者対象の相談・運動指導
◆栄養・食生活相談
◆ふれあい食育教室
◆直売所・加工所等支援
◆市民農園管理運営事業
◆生ごみ処理機等購入費補助事業
◆食の安全安心の啓発

（ふれあい食育講座）

（出前講座）

（５）高齢期

会社の退職や子どもが自立するなど生活環境が著しく変化し、余暇の時間が増えることから生きがいや趣味をもって暮らしていくことが大切です。

一人ひとりが「何を」「どれだけ」食べたら良いか、個々に適し栄養バランスに配慮した食生活を送る事が大切です。また、これまでの人生経験の中から得た食に関する知識を活用し、地域において指導的な役割が期待されます。

〇施策の内容

◇健康状態にあった食事内容についての相談、歯科検診の推奨、情報提供に努めます。

◇高齢者が子どもたちと料理をする機会を提供し、郷土料理の伝承に取組みます。

〇主な事業

◆健康相談
◆栄養・食生活相談
◆直売所・加工所等支援
◆食と農のふれあい交流活動支援事業
◆ふれあい食育教室
◆ふるさと食農教室先生派遣事業
◆高齢者料理教室
◆出前講座

（ふるさと食農教室）

第３章　計画の着実な推進に向けて

１　計画の推進体制

食育に関する取組は、地域の特性を活かし、各主体が個別に実施することはもちろんのこと、様々な組織や人々の協働のもとで実施されることにより、より効果を期待できるものが多くあります。

そのため、この計画の着実な推進を図るために、「武雄市食育推進委員会」を組織し、行政をはじめ各主体が相互に連携し、食育を市民運動として展開します。

また、食育事業の集大成として「食育まつり」を開催します。

２　家庭、地域、学校及び行政の役割

子どもたちへの食育を実施するためには、対象である子どもや保護者はもとより、食育に携わる多くの関係者が各々の役割を果たしながら、食育を進めていくことが重要です。

（１）家庭の役割

子どもは、

○保育園、幼稚園、学校や地域で実施される食育の取組について関心を持ち積極的に参加しよう。

○食育で感じたことを家族に伝えよう。

○早寝・早起き・朝ごはん運動を実践し、基本的な生活習慣を身につけよう。

保護者は、

○保育園、幼稚園、学校や地域で実施される食育の取組に積極的に参加しよう。

○子どもと地域の食材や料理について話をしよう。

○家族が共に食卓を囲む「家族団らん」をしよう。

（２）地域、関係機関・団体の役割

○子どもや保護者が体験できる食育の場を提供します。

○各関係機関や行政と連携して食育の取組を実施します。

（３）学校、幼稚園、保育園等の役割

○あらゆる機会や場所を利用して、積極的に食育を推進します。

○早寝・早起き・朝ごはん運動を推進します。

○学校給食等を通じた食育を推進します。

○地域や各種団体による食育の推進活動に協力して取組みます。

（４）行政の役割

○本計画の目標を達成するため、食育に関する施策を推進します。

○「たけおの食育の日」（毎月１９日）の定着に努めます。

○食品の安全性、栄養その他の食生活に関することなど、食育実践のための情報を提供します。

〇各関係機関と連携し、食育の取組を実施します。
〇災害発生時の食に関する情報を提供します。

３　計画の評価と見直し

計画を効果的に推進するために、計画（Plan）・実施（Do）・評価（Check）・改善（Action）を実施し、食育の事業により市民の食に関する意識や行動がどのように変わろうとしているかについて、食育の効果を評価し計画の見直しを行います。

食育推進の数値目標一覧

指標			現状値			目標値		
			直近値	調査時点	根拠	H27	設定理由	担当課
1	虫歯のある児の率	3歳6か月児	29.40%	H24. 2月	3歳6か月児健診受診者データ	24.50%	武雄市たっしゃかプラン21	未来課
2	一人当たりのむし歯本数	3歳6か月児	1.28本	H22年度	3歳6か月児健診受診者データ	かぎりなく0本		未来課
		小学6年生	0.61本	H22年度	学校保健安全法に基づく〈健診結果〉	0.5本	武雄市たっしゃかプラン21	学校教育課
3	毎日朝食を食べている園児・児童・生徒の割合	幼稚園・保育園年長児	－		市が実施する食育アンケート	95%		未来課・学校教育課
		小学5年生	89.9%	H23.12月	朝食等実態調査（佐賀県体育保健課）	95%	1次計画未達成	学校教育課
		中学2年生	89.6%			90%	1次計画未達成	
4	家族で食事をする児童・生徒の割合（「家族そろって」及び「大人の誰かと食べる」児童生徒の割合）	朝 小学5年生	50.2%	H23.12月	朝食等実態調査	55%		学校教育課
		中学2年生	29.4%			33%		
		夕 小学5年生	88.8%			90%		
		中学2年生	84.6%			86%		
5	学校給食における県産食材の使用割合		50.2%	H23.11月	学校給食に使用する県産食材調（食材数ベース）	55%		学校教育課
6	学校給食の残菜量（一人1日当たり）		7.7g	H23.9～10月	学校給食主任	5g		学校教育課

食育推進の数値目標一覧

7	壮年期の肥満度 BMI25 以上の割合（マルチマーカーより）	【男性】 40～59 歳	31.7%	H24.2 月	国民健康保険特定健診	21.0%	佐賀県健康プラン	健康課
		【女性】 40～59 歳	17.4%			13.0%		
8	特定健診受診者のⅡ度Ⅲ度高血圧者（最高血圧 160 以上または最低血圧 100 以上）の割合		7.2%	22 年度	国民健康保険特定健診	6.5%	武雄市たっしゃかプラン21	健康課
9	特定健診受診者の HbA1c 正常者（ヘモグロビンエイワンシー5.2%未満）の割合		28.1%	22 年度	国民健康保険特定健診	50.0%	武雄市たっしゃかプラン21	健康課
10	運動の状況 （30 分以上の運動を週2回以上、1年以上継続している人の割合）		31.0%	22 年度	国民健康保険特定健診問診項目	35.0%	武雄市たっしゃかプラン21	健康課
11	ごみの経年変化		3,339t	H23. 3 月	H22 杵藤クリーンセンター報告	3,066t	武雄市循環型社会推進計画	環境課
12	食農教育に取り組んでいる団体数（登録人数）		11 （92 人）	H23. 2 月	農林商工課資料	13 （105 人）	2年間で1団体の設立を目標に支援・情報提供を行う	農林課

参　考　資　料

第２次武雄市食育推進計画は、武雄市食育推進調査会議の審議を踏まえて、策定しました。

武雄市食育推進調査会議（20名）

所　属　団　体	氏　　名	役職
西九州大学	澤　野　香代子	会長
武雄市食生活改善推進協議会	中　尾　良　子	副会長
武雄市小中学校校長会	古　賀　一　菊	委員
武雄市保育部会	林　　美　和	委員
佐賀県農業協同組合　武雄支所	蒲　地　則　幸	委員
味菜ネットワーク	杉　原　美津江	委員
武雄市飲食業組合	古　川　久美子	委員
武雄市連合ＰＴＡ	川　内　正　美	委員
武雄市学校栄養職員部会	福　山　隆　志	委員
杵島農業改良普及センター	牧　　善　弘	委員
武雄農林事務所	大　竹　智　仁	委員
杵藤保健福祉事務所	村　武　悦　子	委員
武雄杵島地区医師会	貝　原　良　太	委員
武雄杵島地区歯科医師会	増　田　純　一	委員
武雄杵島地区薬剤師会	竹　中　一　郎	委員
公募委員	岩　瀬　和　也	委員
公募委員	下　平　寅　義	委員
公募委員	井　手　美知子	委員
公募委員	馬　場　宏　彰	委員
公募委員	植　松　雅　子	委員

事務局　武雄市こども部食育課

発　　行	平成24年3月31日
一部変更（目標値）	平成24年6月 1日

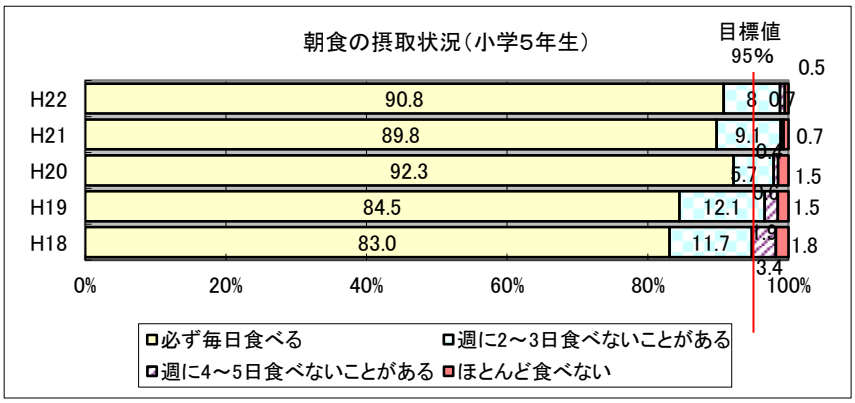
食育推進の数値目標一覧（推移）

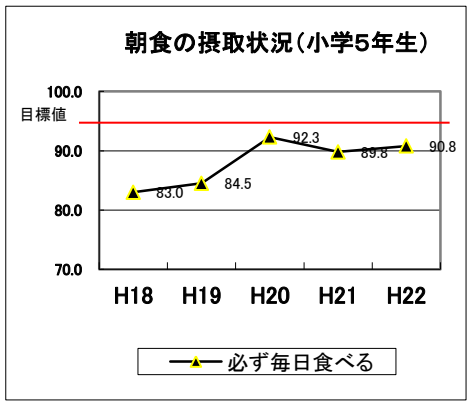
平成20年度に策定した「がばいよか武雄の食育推進計画」における食育推進の数値目標及びその推移を表しています。

1．朝食を欠食する子ども

◆朝食の摂取状況（小学5年生）　（単位　%）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22目標	担当課
必ず毎日食べる		83.0	84.5	92.3	89.8	90.8	95	学校教育課
週に2～3日食べないことがある		11.7	12.1	5.7	9.1	8	－	
週に4～5日食べないことがある		3.4	1.9	0.6	0.4	0.7	－	
ほとんど食べない		1.8	1.5	1.5	0.7	0.5	－	
計		99.9	100.0	100.1	100.0	100	－	

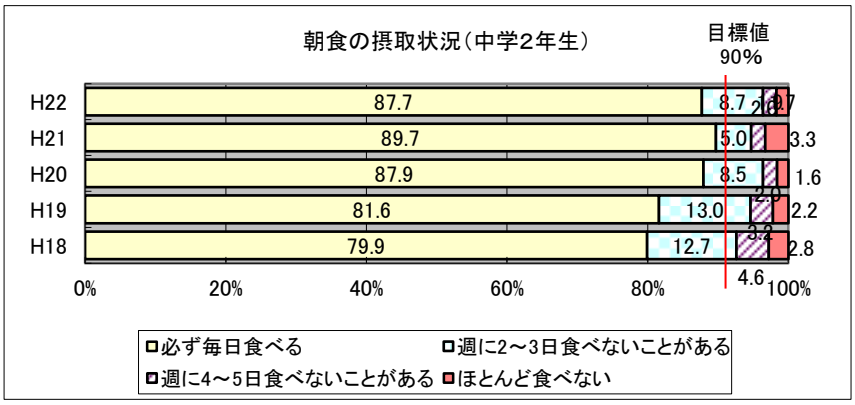


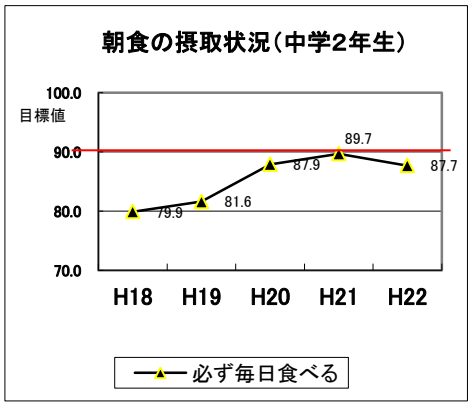


朝食の摂取状況（小学5年生）は、「必ず毎日食べる」を95%目標設定し、平成18年度から増加傾向が見られたが、平成22年度は90．8%で目標値に4．2%届かなかった。「ほとんど食べない」は調査開始の平成18年度から毎年減少がみられた。

◆朝食の摂取状況（中学2年生）　（単位　%）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22目標	担当課
必ず毎日食べる		79.9	81.6	87.9	89.7	87.7	90	学校教育課
週に2～3日食べないことがある		12.7	13.0	8.5	5.0	8.7	－	
週に4～5日食べないことがある		4.6	3.2	2.0	2.0	1.9	－	
ほとんど食べない		2.8	2.2	1.6	3.3	1.7	－	
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100	－	





朝食の摂取状況（中学2年生）は、「必ず毎日食べる」が平成18年度調査から年々増加していたが、平成22年度は87．7%であった。また、「ほとんど食べない」は平成21年度3．3%で増加したが、平成22年度には減少した。

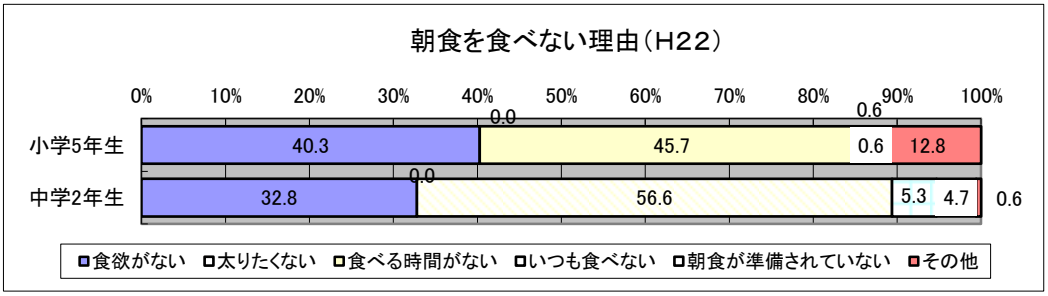
◆朝食を食べない理由（小学5年生）　（単位　%）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22目標	担当課
食欲がない		37.3	46.8	47.6	47.2	40.3	−	学校教育課
太りたくない		7.2	3.2	4.8	1.8	0	−	
食べる時間がない		41.0	35.5	35.7	36.4	45.7	−	
いつも食べない		1.2	1.6	0.0	1.8	0.6	−	
朝食が準備されていない		9.6	4.8	4.8	7.3	0.6	−	
その他		3.6	8.1	7.1	5.5	12.8	−	
計		99.9	100.0	100.0	100.0	100	−	

◆朝食を食べない理由（中学2年生）　（単位　%）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22目標	担当課
食欲がない		52.7	43.9	26.7	31.7	32.8	−	学校教育課
太りたくない		0.0	1.8	0.0	2.4	0	−	
食べる時間がない		38.2	45.6	53.3	46.4	56.6	−	
いつも食べない		5.5	3.5	5.0	4.9	5.3	−	
朝食が準備されていない		1.8	3.5	3.3	12.2	4.7	−	
その他		1.8	1.8	11.7	2.4	0.6	−	
計		100.0	100.1	100.0	100.0	100	−	

出典　H18・19年度　・・・杵島武雄地区学校栄養職員部会「杵島武雄地区食生活調査」
H20・21・22年度・・・佐賀県教育委員会「朝食等実態調査」（毎年12月調査）



2. 朝食を一人で食べる子ども

◆朝食の共食状況（小学5年生）　（単位　%）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22目標	担当課
家族そろって食べる		20.1	22.0	22.1	19.8	22	−	学校教育課
おとなの家族の誰かと食べる		30.9	32.1	23.4	27	26.8	−	
子どもだけで食べる		33.5	28.0	35.9	35.7	30.9	−	
一人で食べる		15.4	17.5	17.7	16.6	19.5	−	
その他（無回答等）		0.0	0.4	0.9	0.9	0.8	−	
計		99.9	100.0	100.0	100	100	−	

◆朝食の共食状況（中学2年生）　（単位　%）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22目標	担当課
家族そろって食べる		13.6	12.4	13.4	13.1	13.7	−	学校教育課
おとなの家族の誰かと食べる		25.4	26.3	17.5	17.4	19.2	−	
子どもだけで食べる		28.3	27.0	29.9	27.7	19.6	−	
一人で食べる		32.6	34.3	37.0	39.5	42.6	−	
その他（無回答等）		0.0	0.0	2.2	2.3	4.9	−	
計		99.9	100.0	100.0	100.0	100	−	

出典　H18・19年度　・・・杵島武雄地区学校栄養職員部会「杵島武雄地区食生活調査」
H20・21・22年度・・・佐賀県教育委員会「朝食等実態調査」（毎年12月調査）

3. 子どもの起床時間と睡眠時間

◆起きる時間（小学5年生）　（単位　%）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22目標	担当課
6時前		18.9	16.8	7.3	8.7	9.1	−	学校教育課
6時～6時30分		48.3	48.0	56	62.8	60.3	−	
6時31分～7時		24.9	28.6	29.2	25.0	24.4	−	
7時～7時30分		7.1	6.2	6.9	3.2	6.1	−	
7時31分～		0.8	0.4	0.6	0.3	0.1	−	
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100	−	

◆起きる時間（中学2年生）　（単位　%）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22目標	担当課
6時前		7.7	11.7	1.9	4.8	5.1	−	学校教育課
6時～6時30分		38.4	38.7	30.7	39.9	32.9	−	
6時31分～7時		35.6	39.4	46.3	37.4	36.9	−	
7時～7時30分		16.9	10.2	19	16.6	20.6	−	
7時31分～		1.4	0.0	2.1	1.3	4.5	−	
計		100	100.0	100.0	100	100	−	

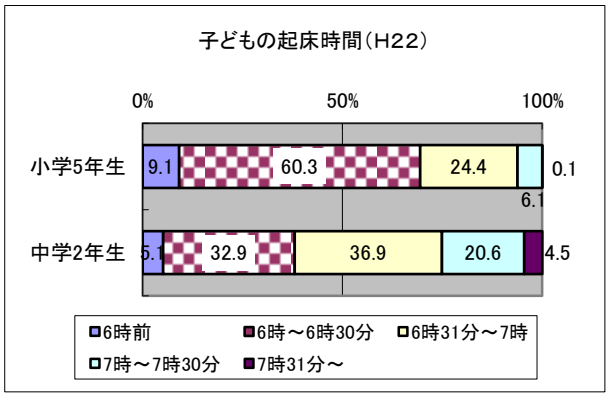
◆夜、寝る時刻（小学5年生）　（単位　%）

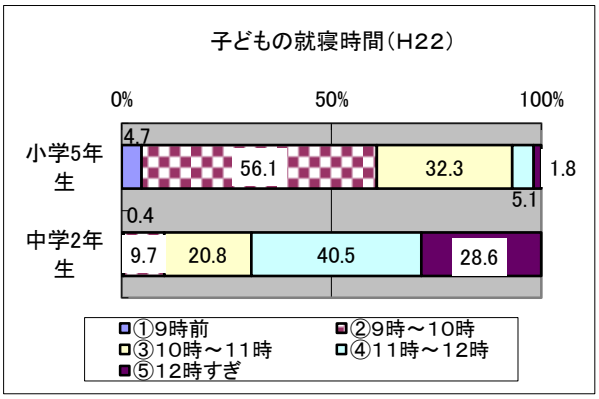
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22目標	担当課
①9時前		12.7	18.9	6.6	5.5	4.7	−	学校教育課
②9時～10時		50.7	45.9	37.8	49.5	56.1	−	
③10時～11時		28.5	25.0	42.1	33.8	32.3	−	
④11時～12時		6.3	8.3	10.1	9.1	5.1	−	
⑤12時すぎ		1.8	2.0	3.4	2.1	1.8	−	
計		100.0	100.1	100.0	100	100	−	

◆夜、寝る時刻（中学2年生）　（単位　%）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22目標	担当課
①9時前		1.8	2.5	0.2	0.8	0.4	−	学校教育課
②9時～10時		4.9	1.3	3.3	9.5	9.7	−	
③10時～11時		38.4	45.0	26.5	34.7	20.8	−	
④11時～12時		40.1	31.3	45.9	40.0	40.5	−	
⑤12時すぎ		14.8	20.0	24	15.0	28.6	−	
計		100.0	100.1	99.9	100	100	−	

出典　H18・19年度　・・・杵島武雄地区学校栄養職員部会「杵島武雄地区食生活調査」
H20・21・22年度・・・佐賀県教育委員会「朝食等実態調査」（毎年12月調査）





4．子どもの朝食メニュー

◆朝食メニュー（小学5年生）　（単位　%）

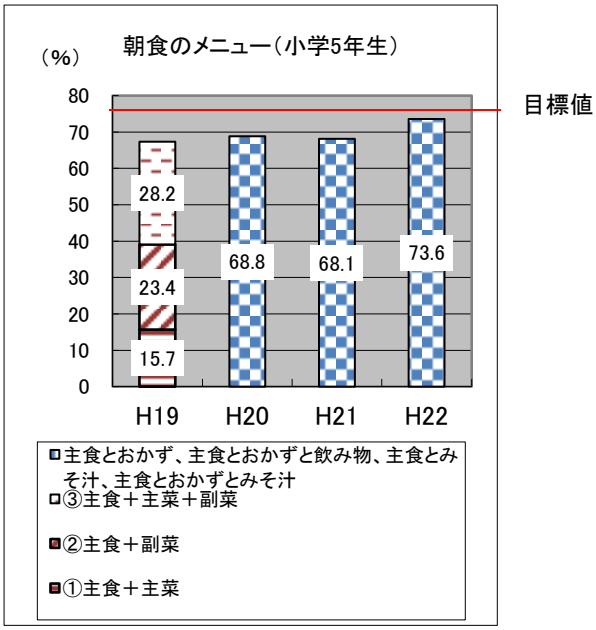
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22目標	担当課

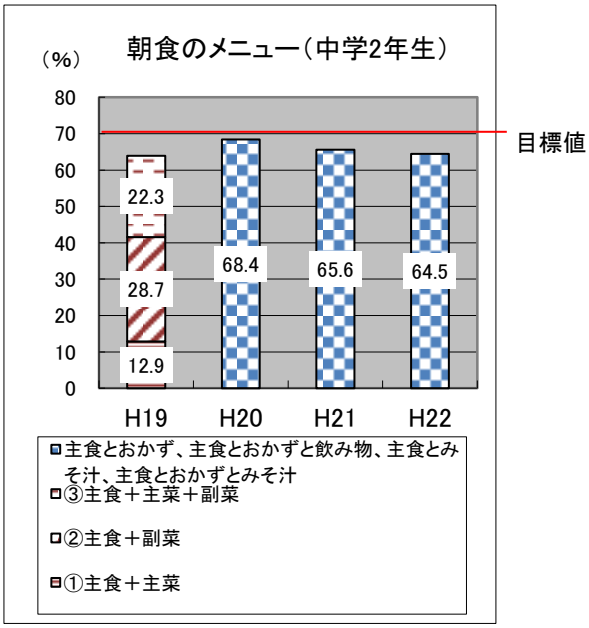
①主食＋主菜		14.3	15.7				75	学校教育課
②主食＋副菜		25.6	23.4					
③主食＋主菜＋副菜		30.3	28.2					
主食とおかず、主食とおかずと飲み物、主食とみそ汁、主食とおかずとみそ汁				68.8	68.1	73.6		

◆朝食メニュー（中学2年生）　（単位　%）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22目標	担当課
①主食＋主菜		9.5	12.9				70	学校教育課
②主食＋副菜		29.5	28.7					
③主食＋主菜＋副菜		24.7	22.3					
主食とおかず、主食とおかずと飲み物、主食とみそ汁、主食とおかずとみそ汁				68.4	65.6	64.5		

出典　H18・19年度　・・・杵島武雄地区学校栄養職員部会「杵島武雄地区食生活調査」
H20・21・22年度・・・佐賀県教育委員会「朝食等実態調査」（毎年12月調査）





子どもの朝食メニューは、平成19年度に目標値を設定したが平成20年度から調査項目が変更となったため、「主食とおかず、主食とおかずと飲み物、主食とみそ汁、主食とおかずとみそ汁」を調査した。
小学5年生では、平成20年度68．8%であったが、平成22年度には73．6%と増加したが、目標値は達成できなかった。また、、中学2年生では、平成20年度68．4%であったが、平成22年度には64．5%と減少した。

5．子どもの肥満

◆肥満傾向児の出現率（中学1年生）　（単位　%）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22目標	担当課
肥満傾向児（※1）	12.0	12.0	12.4	9.8	8.8		10.4	健康課
痩身傾向児（※2）	4.3	4.3	3.3	2.7	4.8		－	

出典　小児生活習慣病予防検査
（※1）肥満傾向児とは，性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め，肥満度が20%以上の者である。
（※2）痩身傾向児とは，性別・年齢別に身長別平均体重から肥満度を求め，肥満度が−20%以下の者である。
肥満度＝（実測体重－身長別標準体重）／ 身長別標準体重　× 100（%）

子どもの肥満は、中学1年生を対象にした小児生活習慣病予防検査により調査をしていたが、平成21年度で廃止されたため、平成22年度は調査出来なかった。肥満傾向児は、目標値を設定した平成19年度は12．4%だったが、平成21年度は8．8%となり目標値を達成した。

6．年代別肥満の割合

◆BMI25以上の割合（男性）　（単位　%）

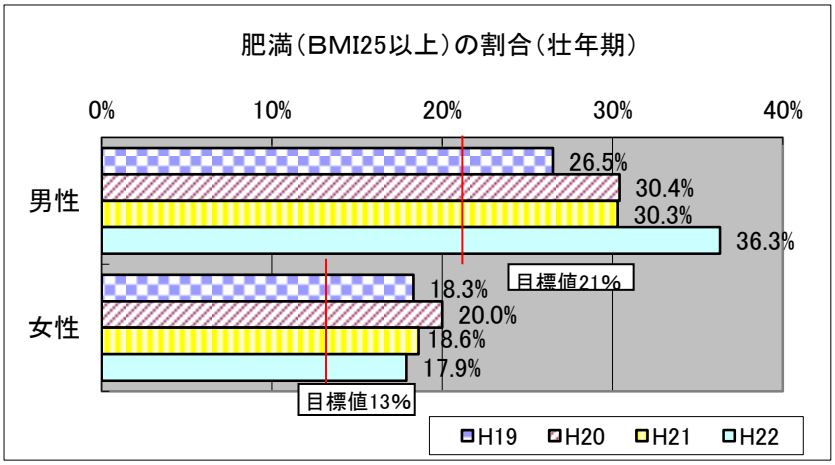
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22目標	担当課
40～49歳	24.4	28.0	21.2	30.9	30.9	33.3	－	

50～59歳	27.5	24.6	29.1	30.1	30.0	39.3	－	健康課
60～69歳	24.7	28.7	21.5	25.5	24.6	23.8	－	
70歳以上	17.3	19.5	20.9	21.3	22.1	21.4	－	
壮年期（40～59歳）	26.4	25.6	26.5	30.4	30.3	36.3	21	

◆BMI25以上の割合（女性）　（単位　%）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22目標	担当課
40～49歳	13.2	11.2	11.8	16.2	17.9	16.5	－	健康課
50～59歳	21.3	19.7	21.1	21.7	18.8	19.3	－	
60～69歳	23.2	23.7	21.6	20.3	20.0	22.9	－	
70歳以上	18.4	20.0	23.1	26.0	24.6	27.6	－	
壮年期（40～59歳）	18.5	17.0	18.3	20.0	18.6	17.9	13	

出典　H17年度･･･基本健診（市健康増進課調べ）
H18･19年度･･･基本健診（マルチマーカーより）（市健康課調べ）
H20･21･22年度～･･･特定健診（マルチマーカーより）（市健康課調べ）



年代別肥満の割合では、健診を希望する市民を対象にした基本健診におけるBMI25以上の割合を目標値として設定したが、平成20年度に廃止され、国民健康保険加入者を対象にした特定健診をによる調査を開始した。男性では、平成20年度30．4%であり平成22年には36．3%となり増加がみられる。女性では、平成20年度20%であったが、平成22年度には17．9%となり減少がみられた。

7．生活習慣病

◆生活習慣病による死亡実数　（単位　人）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22目標	担当課
悪性新生物	179	162	174	169	174	159	－	健康課
心疾患	99	71	87	104	86	90	－	
脳血管疾患	84	54	62	87	73	68	－	
糖尿病	6	11	4	12	12	3	－	

出典　･･･保健統計年報（人口動態調査）

8．食育の推進に関するボランティア数　（単位　人）

団体名	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22目標	担当課
武雄市食生活改善推進協議会			564	587	570	550	－	食育課
山内町ふるさと食品研究会			26	24	23	25	－	
山内町オアシス会				33	20	15	－	
黒米倶楽部やまうち				35	35	7	－	

ふるさと隊						20	－	
竹友会						7		
計			590	679	648	624	－	

出典　市食育課調べ（佐賀県：食育の推進に関わるボランティア数調査報告より）

9．学校田、学級園で農業体験を実施している学校

◆小学校（11校）　（単位　校）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22目標	担当課
野菜づくり			3	5	5	7	－	
米及び野菜づくり			8	6	6	4	－	
計			11	11	11	11	11	

◆中学校（5校）　（単位　校）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22目標	担当課
野菜づくり			1	2	3	2	－	
米及び野菜づくり							－	
計			1	2	3	2	－	

出典　市学校教育課調べ

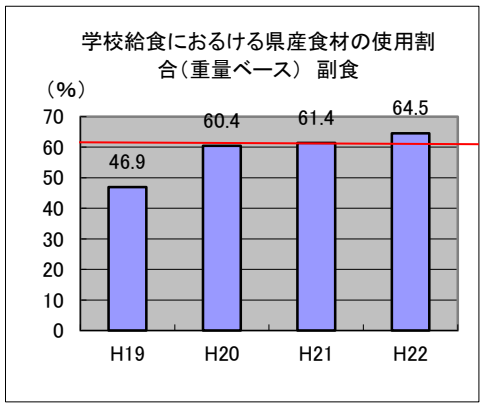
10．学校給食における県産食材の使用

◆学校給食への県産食材利用状況（重量ベース）　（単位　%）

武雄市	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22目標	担当課
主食		68					－	農林商工課
牛乳		100					－	
副食		40	46.9	60.4	61.4	64.5	62	

出典　学校給食栄養報告の調査に合わせて実施（県流通課調べ）

学校給食への県産食材の使用割合は、「たけおの食の日」を導入した平成20年度から6割となり、平成22年度64．5%であり目標値を上回った。



11．ごみの経年変化

◆武雄市におけるごみ排出量重量の経年変化　（単位　t）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22目標	担当課
可燃物	10,016	10,099	10,104	9,926	10,061		9,715	環境課
可燃物のうち、生ごみ等		(3,366)	(3,368)	(3,308)	3,018	3,393	3,237	
可燃物のうち、生ゴミ以外		(6,733)	(6,736)	(6,618)	(6,618)		－	
不燃物	569	629	557	518	535		－	
粗大ごみ	635	580	567	453	497		－	
合計	11,220	11,308	11,228	10,897	11,093		－	
人口	51,497	52,384	52,129	51,826	51,558		－	

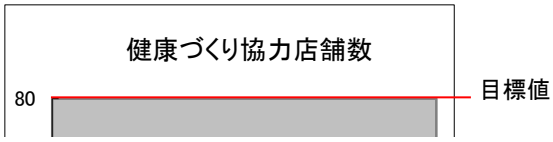
出典　市環境課　　人口（H17は統計年鑑、H18,19,20市統計調査より）

12．健康づくり協力店登録店舗数　（単位　箇所）

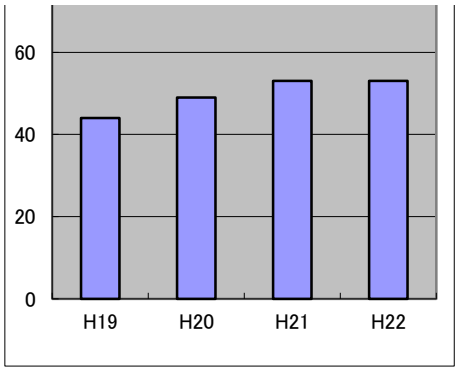
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22目標	担当課
武雄市			44	49	53	53	80	健康課

出典　市健康課、杵藤保健福祉事務所

健康づくり協力店舗は、平成22年度53箇所あり食生活の面から市民の健康づくりを支援する店舗の増加がみられる。



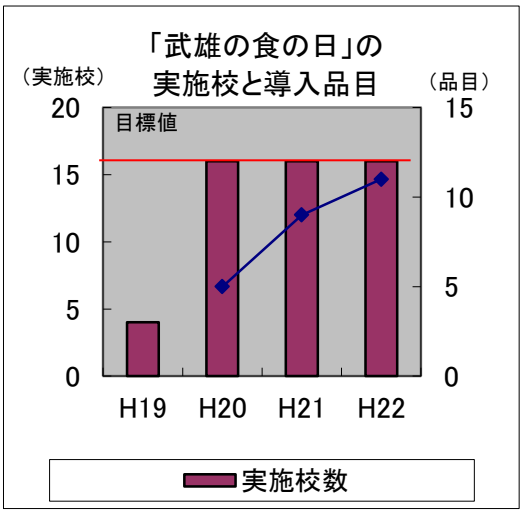
健康づくり協力店とは、メニューに栄養成分表示をしたり、バランスのとれたメニューを提供するなど、食べる人の健康づくりを応援する取組をしているお店のことです。



13.「武雄の食の日」を実施している学校数（全16校）　（単位　校）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22目標	担当課
実施校数			4	16	16	16	16	農林商工課
（導入品目数）★追加分				5	9	11	－	

出典　市農林商工課調べ

「武雄の食の日」を平成20年度に設定し、市内小中学校全校で実施できた。
また、平成20年度5品目（ちんげん菜、きゅうり、刀根柿、いちご、小松菜）、平成21年度9品目（ちんげん菜、きゅうり、刀根柿、いちご、小松菜、玉ねぎ、みかん、冬至かぼちゃ、ミディトマト）を導入し、平成22年度には11品目になった。

武雄の食の日とは、武雄産の農産物を使った「食の日」を設定し、「食の日通信（情報紙）」を発行している学校給食の取組のことです。